

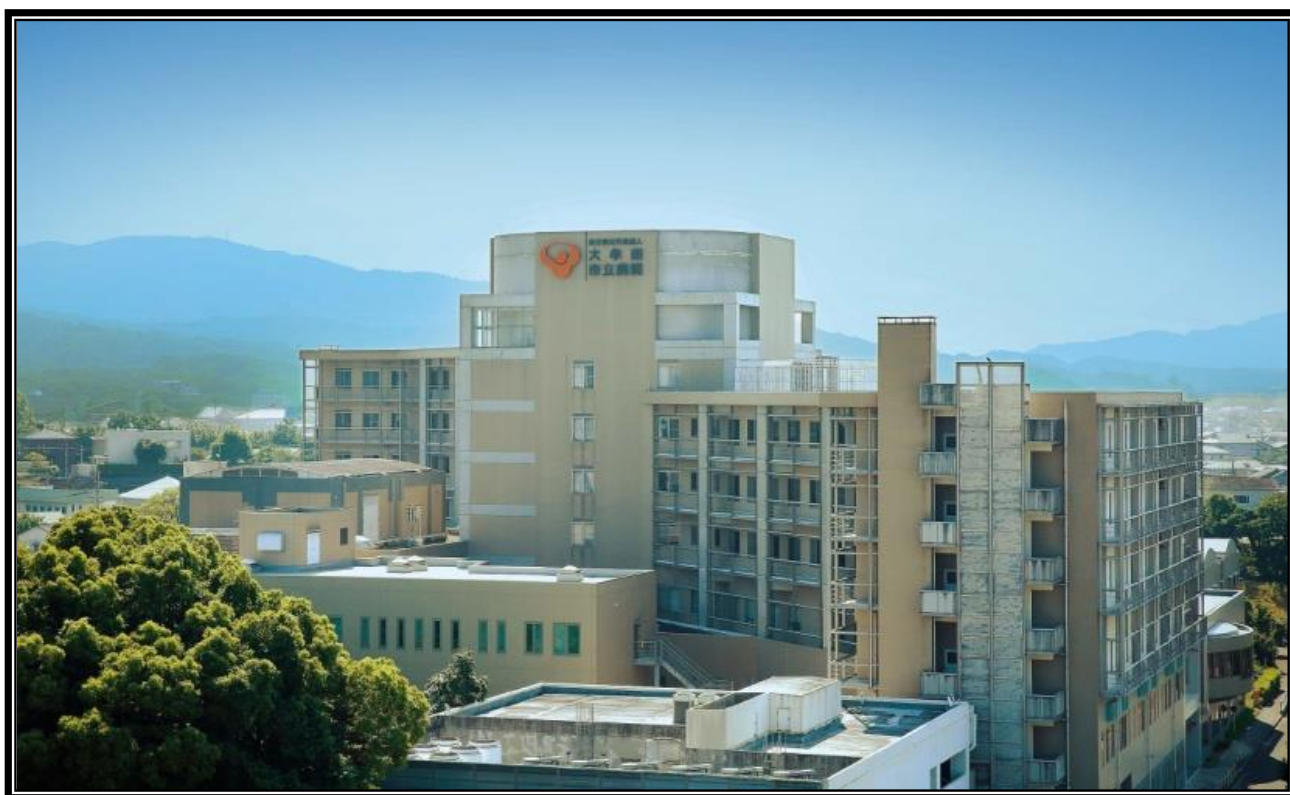


地方独立行政法人

# 大牟田市立病院

令和 5 年度採用

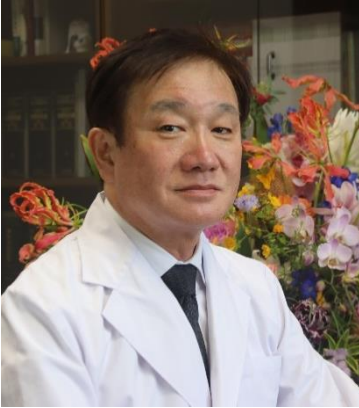
初期臨床研修医募集要項



## 目次

1. 臨床研修を始める皆さんに・・・・・・・・・・P1
2. 診療体制・実績・・・・・・・・・・P2
3. 施設・・・・・・・・・・P5
4. 沿革・・・・・・・・・・P6
5. 地域医療への貢献・・・・・・・・・・P7
6. 初期臨床研修について・・・・・・・・・・P9
7. 指導医からのメッセージ・・・・・・・・・・P13
8. 研修医の声・・・・・・・・・・P14
9. 研修中の行事例・・・・・・・・・・P20
10. 募集要項と処遇・・・・・・・・・・P21
11. アクセス・・・・・・・・・・P22

# 1. 臨床研修を始める皆さんに



当院は、1985年に医師法第16条に基づく臨床研修病院として厚生大臣指定を受け、その後は、一貫して研修医～専門指導医のペアで、実地臨床研修を行ってきました。現在も当院医師の半数が専門科指導医資格を有しています。さらに現行の初期臨床研修制度に移行した後も卒後初期研修のほか、専門科入局～卒後5年日程までの若い医師が大勢勤務しています。このため異なる診療科間でも全く垣根が無く、常に幅広い研修が行えるのが当院の特徴と言えます。

医師にとって「病院」で初期研修を行う目的の一つは、色々な職種のスタッフとチームを組んで、あるいは協働して医療を行うというトレーニングにあります。他職種の専門分野を理解し、どういう援助が求められるか、そして協働した医療行為には互いのコミュニケーションが如何に重要か、学ぶことは数多くあります。プロは、プロによって、プロとして育てられるのが、最良の方法と言えます。

二つ目の研修目的は、経験と判断力を積み上げていくことです。経験と学習に裏付けられた判断力こそ、医療現場の即戦力となるものです。しかし、慌てる必要はありません。特に最初の2年間は、専門医師になるための助走期間ととらえてください。基本的な分野で研鑽を積み、基礎固めを行うことこそ、長い医師生活を送っていく上で最も重要なこととなります。そのためには、プライマリー疾患を多く経験すると同時に、単なる診断・治療ではなく、一つ一つの診療行為の持つ意味、すなわちリスクと効果を応用出来るようになることが重要です。

地域基幹研修病院には、基本的疾患の豊富な経験、良い指導医に巡り会うチャンス、プロとして育てられる厳しさ、そして何よりも研修医個人の向上心を持続させる教育的な包容力が備わっています。ぜひ、この体制を十分に活用して、初期の臨床研修先を選択ください。

地方独立行政法人大牟田市立病院  
理事長・院長 鳥村 拓司

## 2. 大牟田市立病院の診療体制・実績

高度で専門的な医療を提供する地域の急性期病院です。

特に、

☆地域がん診療連携拠点病院

☆災害拠点病院

☆地域医療支援病院

であり、地域のくらしを支えている病院です。

### 【病床数】 320床（一般病床）

（ 救急病棟20床、腎センター（透析）18床、  
外来化学療法センター8床 ）

### 【診療体制】 (令和4年4月1日現在) 30診療科

内科、消化器内科、内視鏡内科、腫瘍内科、血液内科、内分泌・代謝内科、  
循環器内科、腎臓内科、外科、消化器外科、腫瘍外科、呼吸器外科、  
血管外科、整形外科、形成外科、脳神経外科、脳・血管内科、麻酔科、  
精神科、小児科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、  
リハビリテーション科、放射線診断科、放射線治療科、病理診断科、救急科

### 【救急体制】 24時間、365日体制です

当 直 体 制：救急系、内科系、外科系、薬剤師、臨床検査技師、診療放射線技師、  
看護師、小児科（週2回の地域輪番救急当直）※すべて専用当直室あり  
拘束バックアップ：内科、外科、循環器内科、産婦人科、脳神経外科、麻酔科、小児科

### 【職員数】 (令和4年4月1日現在)

医師：64人（臨床研修医を含む） うち女性医師14人

初期臨床研修医：4人

後期臨床研修医（卒後3~5年目）：5人

（ 内分泌・代謝内科1人、脳神経外科1人、麻酔科1人、  
泌尿器科1人、産婦人科2人、 ）

指導医（卒後7年目以上、指導医講習会受講済み）：28人

内科系6人、内分泌・代謝内科2人、循環器内科2人、腎臓内科1人、  
外科系2人、整形外科1人、脳神経外科3人、麻酔科1人、  
小児科1人、皮膚科1人、泌尿器科1人、産婦人科2人、  
放射線診断科1人、放射線治療科1人、病理診断科1人、救急科2人

看護職：295人

認定看護師：7人

〔救急、感染管理、集中ケア、皮膚・排泄ケア、緩和ケア〕

医療技術職：95人

事務職：56人

### 【業務実績】（令和3年度）

延べ外来患者数：年間99,459人（1日平均413.5人）

延べ入院患者数：年間78,180人（1日平均214.2人）

救急患者数：年間4,416人

救急車搬入：年間1,734件

年間手術件数：2,640件

その他検査等：内視鏡検査件数（上部下部）3,529件、消化管透視143件、  
CT検査10,678件、MRI検査3,773件、DSA血管造影・治療183件、  
放射線治療（リニアック）1,101件（令和3年度機器更新）、  
病理組織検査3,672件、細胞診3,211件

分娩件数：年間170件

平均在院日数：11.0日

紹介率：92.3%

健診センター：年間健診受診者3,460人、年間特定業務従事者健診受診者359人

## 【決算状況】 17年連続黒字決算継続中

|        |               |        |               |
|--------|---------------|--------|---------------|
| 平成17年度 | 4億5,621万円黒字決算 | 平成18年度 | 1億3,536万円黒字決算 |
| 平成19年度 | 1億9,100万円黒字決算 | 平成20年度 | 1億2,439万円黒字決算 |
| 平成21年度 | 2億5,676万円黒字決算 | 平成22年度 | 5億5,810万円黒字決算 |
| 平成23年度 | 3億2,804万円黒字決算 | 平成24年度 | 4億5,338万円黒字決算 |
| 平成25年度 | 2億0,499万円黒字決算 | 平成26年度 | 4億5,801万円黒字決算 |
| 平成27年度 | 4億9,370万円黒字決算 | 平成28年度 | 5億3,322万円黒字決算 |
| 平成29年度 | 3億9,141万円黒字決算 | 平成30年度 | 4億1,287万円黒字決算 |
| 令和元年度  | 3億9,070万円黒字決算 | 令和2年度  | 2億6,591万円黒字決算 |
| 令和3年度  | 3億7,363万円黒字決算 |        |               |

## 【施設認定など】

### 施設認定

- 保険医療機関
- 地域がん診療連携拠点病院
- 厚労省外国医師等の臨床修練指定病院
- 救急告示病院
- 日本医療機能評価機構認定病院
- 地域医療支援病院
- 厚労省臨床研修指定病院
- 災害拠点病院
- 開放型病院
- 久留米大学医学部教育関連病院

### 学会認定

- 日本肝臓学会認定施設
- 日本消化器病学会専門医制度認定施設
- 日本循環器学会循環器専門医研修施設
- 日本整形外科学会専門医研修施設
- 日本脳神経外科学会専門医研修施設
- 日本産科婦人科学会専門医制度専攻医指導施設
- 日本臨床細胞学会施設
- 日本皮膚科学会認定専門医研修施設
- 日本消化器外科学会専門医修練施設
- 日本脈管学会認定研修関連施設
- 日本眼科学会専門医制度研修施設
- 日本手外科学会研修施設
- 日本内科学会認定医制度教育関連病院
- 日本糖尿病学会認定教育施設
- 日本外科学会外科専門医制度修練施設
- 日本形成外科学会教育関連施設
- 日本泌尿器科学会泌尿器科専門医基幹教育施設
- 日本麻酔科学会麻酔科認定病院
- 日本脳卒中学会認定研修教育病院
- 日本高血圧学会専門医認定施設
- 日本透析医学会教育関連施設
- 日本病理学会研修登録施設
- 日本腎臓学会認定教育施設
- 日本救急医学会救急科専門医指定施設

### その他

- 身体障害者福祉法指定医療機関
- 自立支援医療機関【更生医療・育成医療】



- 自立支援医療機関【精神通院医療】
- 生活保護法指定医療機関
- 労災保険指定医療機関
- 国民健康保険診療取扱機関
- 指定養育医療機関（未熟児養育医療）
- 産科医療補償制度加入医療機関
- 指定難病医療機関
- 助産施設指定医療機関
- 母体保護法指定医療機関
- 原爆被爆者指定医療機関
- 社会保険各法指定医療機関
- 結核指定医療機関
- 肝疾患専門医療機関
- 指定小児慢性特定疾病医療機関

### 3. 施設

地域基幹研修病院として、最新の医療設備・医療機器を備えています。

●救急外来：平成28年3月に拡充し、充実した救急医療ができるようになりました。



●内視鏡センター：消化管の他、肝・胆・膵疾患と幅広い診断・治療に対応しています。



●放射線診断（320列CT、MRI、アンギオ等）・治療機器



●院内保育所：少人数の手厚い保育で、勤務時間に応じて24時間利用可能です。



## 4. 沿革

|         |                                                                                                                                                                          |
|---------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 昭和12年   | 大牟田市診療所として開院                                                                                                                                                             |
| 昭和25年   | 大牟田市立病院と改称                                                                                                                                                               |
| 昭和54年   | 24時間365日の救急体制開始                                                                                                                                                          |
| 昭和60年   | 臨床研修病院として厚生大臣指定<br>久留米大学関連研修病院として正式に臨床研修開始                                                                                                                               |
| 昭和61年   | 自治体立優良病院として自治大臣表彰                                                                                                                                                        |
| 昭和63年   | 外国医師等の臨床修練に係る病院として厚生大臣指定                                                                                                                                                 |
| 平成 7年   | 現在地に総工費150億円で新築移転（400床）<br>大牟田市立総合病院と改称                                                                                                                                  |
| 平成11年   | 日本医療機能評価機構の病院機能評価 認定（初回）<br>災害拠点病院に指定                                                                                                                                    |
| 平成15年   | 「地域がん診療拠点病院」として厚労省指定                                                                                                                                                     |
| 平成16年   | 初期臨床研修病院として全国マッチングでの臨床研修開始<br>日本医療機能評価機構の病院機能評価 認定更新（2回目）<br>全科全領域の電子カルテシステム導入<br>400床を350床に減床（在院期間短縮にて）<br>代わりに、腎センター増床、外来化学療法センター、健診センター増設<br>消化器病センター設置、外科、麻酔科外来の移転増設 |
| 平成19年   | 院外処方箋発行に移行                                                                                                                                                               |
| 平成20年   | 「地域がん診療連携拠点病院」として指定更新<br>急性期病院包括医療DPCに移行<br>日本医療機能評価機構の病院機能評価 認定更新（3回目）                                                                                                  |
| 平成22年4月 | 「地方独立行政法人大牟田市立病院」となる<br>一般病棟7:1看護体制開始                                                                                                                                    |
| 平成23年   | 電子カルテシステム更新<br>院内託児所開所<br>医学生・看護学生奨学金貸付金制度創設                                                                                                                             |
| 平成24年   | 「地域医療支援病院」として福岡県承認                                                                                                                                                       |
| 平成25年   | 日本医療機能評価機構の病院機能評価 認定更新（4回目）                                                                                                                                              |
| 平成27年   | 内視鏡センター設置                                                                                                                                                                |
| 平成28年   | 救急外来拡充                                                                                                                                                                   |
| 平成29年   | 自治体立優良病院両協議会会長表彰受賞                                                                                                                                                       |
| 平成30年   | 自治体立優良病院総務大臣表彰受賞<br>全国公立病院連盟会員病院表彰受賞<br>日本医療機能評価機構の病院機能評価 認定更新（5回目）                                                                                                      |
| 令和 2年4月 | 350床を320床に減床                                                                                                                                                             |



## 5. 地域医療への貢献

大牟田市立病院は、地域医療へ貢献するため、様々な活動を行っています。

災害拠点病院としてDMATを編成。熊本地震の際に出動しました。その他、JMATとして北部九州豪雨災害の際にも出動しました。



毎年、緩和ケア研修会を開催しています。



臨床病理カンファレンス（CPC）と  
臨床がんカンファレンス（CCC）も隔月で開催しています。



患者さん向けの健康教室としてラジオやビデオ等を活用した市民公開講座も開催されています。

**市民公開ビデオ講座**  
3/9(水)～3/22(火)  
(ただし、土日祝日は除く)  
午前9時～12時まで

**「心不全  
について」**

講師 紫原 美和子医師(循環器内科部長)

▼ところ 大牟田市立病院内 患者図書室  
▼対象者 どなたでも結構です  
▼受講料 無料  
▼問合せ 大牟田市立病院  
経営企画課(TEL53-1061)

**市民公開ビデオ講座**  
3/28(月)～4/1(金)  
(ただし、土日祝日は除く)  
午前9時～12時まで

**「肩こり  
について」**

講師 江郷 功起(リハビリテーション科 主査)

▼ところ 大牟田市立病院内 患者図書室  
▼対象者 どなたでも結構です  
▼受講料 無料  
▼問合せ 大牟田市立病院  
経営企画課(TEL53-1061)

**市民公開  
ラジオ講座**  
5/31(火)～6/10(金)  
(ただし、土日祝日は除く)  
午前9時～12時まで

講師  
理事長・院長 鳥村 拓司医師  
「就任のご挨拶」  
救急科 診療部長 伊藤貴彦医師  
「救急医療について」  
中央放射線部 主査 末吉 茂  
「放射線治療について」

▼ところ 大牟田市立病院内 患者図書室  
▼対象者 どなたでも結構です  
▼受講料 無料  
▼問合せ 大牟田市立病院  
経営企画課(TEL53-1061)

地域の医療従事者を対象とした**救急蘇生講習会**では、他の医療機関の医療従事者にも研修を行っています。



平成30年6月21日（木）に東京で開催されました「全国自治体病院協議会定時総会」において、当院が「**平成30年度自治体立優良病院総務大臣表彰**」を受賞しました。

この「自治体立優良病院表彰制度」は、全国の自治体病院の経営の健全化への改善努力の成果や地域医療の確保への多大な貢献や取り組みを表彰するもので、「自治体立優良病院両協議会会長表彰」とその上位表彰となる「総務大臣表彰」の2つの賞がありますが、今回の受賞は昨年の「自治体立優良病院両協議会会長表彰」に続く受賞となりました。

受賞の理由としては、当院が地域において救急医療や高度・専門医療を提供している点や、他の医療機関との連携を推進している点が評価されるとともに、経営的にも長年に亘り黒字経営を継続できていることが評価され受賞に至りました。



## 6. 初期臨床研修について

### 【当院における初期臨床研修の特徴】

- 有明医療圏で最も多くの診療科を有する急性期病院であり、プライマリ・ケアを豊富に経験できること
- 地域がん診療連携拠点病院、災害拠点病院、地域医療支援病院に認定されており、幅広い研修ができること
- 協力病院（久留米大学病院、米の山病院、筑後市立病院、荒尾市民病院）の初期臨床研修医も当院で研修を行っており情報交換ができること

【研修プログラム】プライマリ・ケアの基本的診療能力（態度・技能・知識）を習得します

### 1 年次：

| 4 週         | 8 週                         | 12 週                                           | 24 週                |       |      |
|-------------|-----------------------------|------------------------------------------------|---------------------|-------|------|
|             |                             |                                                | 12 週                | 8 週   | 4 週  |
| 救急<br>(麻酔科) | 麻酔科<br>・ 週 1 日救急科<br>(並行研修) | 外科<br>・ 後半 8 週は週 1 日救急科（並行研修）<br>・ 週 1 日一般外科外来 | 内科<br>・ 週 1 日一般内科外来 | 循環器内科 | 腎臓内科 |

※救急科研修は麻酔科 4 週＋麻酔科研修中は週 1 日並行研修

### 2 年次：

| 4 週            | 4 週           | 4 週              | 4 週  | 32 週                    |
|----------------|---------------|------------------|------|-------------------------|
| 地域医療<br>(共立病院) | 精神科<br>(三池病院) | 小児科<br>・ 週 1 日外来 | 産婦人科 | 選択科<br>・ 週 1 日救急科（並行研修） |

※救急科研修は選択科研修中に週 1 日 並行研修

### 【主な院内カンファレンス・レクチャー】

担当医としてプレゼンテーションも行います。

- ① モーニングカンファレンス：研修医を対象とした症例カンファレンス  
研修医が実際に経験した症例を病歴と身体所見、初期検査を重視して、研修医および指導医が自由に質疑・応答を行う過程で、プライマリ・ケアの診療能力とプレゼンテーション能力向上を目指すカンファレンス。また、他の研修医の経験症例を共有することで将来の自己の実地診療に活かすことを目標とします。
- ② 臨床病理カンファレンス（CPC）：奇数月第 2 火曜日 19 時～
- ③ 臨床がんカンファレンス（CCC）：偶数月第 2 火曜日 19 時～
- ④ 院内ミニレクチャー：各診療科による研修医を対象としたミニレクチャー（年間計 22 回程度）

- ⑤ 大牟田消化器研究会：年 4 回
- ⑥ 大牟田神経アーベント：年 6 回
- ⑦ 大牟田呼吸器カンファレンス：年 4 回
- ⑧ その他：多くの診療科でカンファレンスが開催されています

### 【院内で資格および受講可能な研修】

- ICLS 研修：年数回実施しており、インストラクターの資格も取得可能
- 緩和ケア研修：初期臨床研修医の間に受講します
- 感染に関する研修：年 2 回以上
- 医療安全研修：年 2 回以上
- 医療倫理研修：年 2 回以上
- 病理解剖について：常勤の病理医の下で、病理解剖時には介助医として参加できます。

### 【その他】

- **病理解剖**：常勤病理医の下で、介助医として参加。
- **学会参加・発表、病歴要約など**：  
院内外での発表を経験し、将来必要となる各種学会専門医取得に必要な病歴要約や学会発表、症例報告、論文作成をサポートします。学会・研究会への参加費用および旅費支給制度もあります。
- **新・専門医制度への対応**  
2018 年度より開始された新・専門医制度に対して個々のキャリアプランに応じたサポートを行います。新・専門医制度における 19 の基本領域のうち、13 の基本領域において久留米大学病院および聖マリア病院の連携施設となっています。13 の基本領域では 3 年次から当院で専攻医としての研修も可能です。
- **災害医療への参加**  
研修医も JMAT として 2017 年九州北部豪雨災害、2018 年西日本豪雨災害に参加しました。災害拠点病院としての活動に参加できます。
- **筑後地域メディカルラリーへの参加**  
医師・看護師・救急救命士による医療チームを組み、事故や災害などの模擬現場において制限時間内にいかに迅速かつ的確に診断と治療を行うことができるかを競う救急技能コンテストへの参加も可能です。
- **チーム医療**  
呼吸器チーム、感染対策チーム、栄養サポートチーム、緩和ケアチーム、褥瘡対策チームなどチーム医療も充実しており、より専門的な医療を習得できます。
- **学習環境・生活環境**  
学習環境：  
\* 机、インターネット用無線 LAN、棚は全員に完備しています。  
\* 医療情報は院内図書室以外での閲覧以外に、院内 LAN 環境とインターネット環境を利用した電子書籍で多くの洋雑誌や教科書を閲覧できます。



生活環境：

- \*更衣室・仮眠室も充実しています。
- \*院内保育所を完備しており、結婚・妊娠・出産にも対応できる研修をサポートしています。
- \*希望者は病院宿舎（無料駐車場あり）も利用できます。
- \*夏季休暇、年次休暇、産休、育休などの休暇を利用して仕事以外の生活も充実できるようサポートしています。
- \*大牟田は、穏やかな気候に恵まれ、過ごしやすい自然環境に加え、美味しい食材も豊富です。

➤ 病院見学は随時実施しております。ご希望の際は下記までご連絡ください。

連絡先：0944-53-1061（人事課）

Email：[somu@ghp.omuta.fukuoka.jp](mailto:somu@ghp.omuta.fukuoka.jp)

➤ 医学生奨学金貸付制度もあります。詳細は下記までご連絡ください。

連絡先：0944-53-1061（人事課）

Email：[somu@ghp.omuta.fukuoka.jp](mailto:somu@ghp.omuta.fukuoka.jp)

当院で研修を修了した初期臨床研修医：平成 16 年度～令和 2 年度

- ◇ 当院プログラムでの 2 年間初期臨床研修医（基幹型研修医） 計 32 名  
出身大学：久留米大学、鹿児島大学、九州大学、佐賀大学、産業医科大学  
山口大学、熊本大学、日本医科大学、帝京大学、東海大学、  
福岡大学、長崎大学

- ◇ 研修協力病院としての初期臨床研修医（協力型研修医） 計 160 名  
久留米大学病院（久留米市）  
米の山病院（大牟田市）  
筑後市立病院（筑後市）  
荒尾市民病院（荒尾市）

- 広々とした医局はインターネット用無線 LAN が完備され、研修医にも机と本棚が貸与されます。





●モーニングカンファレンス



●有明地区合同研修医カンファレンス（毎年秋開催）



## 7. 指導医（プログラム責任者）からのメッセージ

### 【プログラム責任者】

伊藤 貴彦（救急科部長）



当院は、福岡の最南端の大牟田市に位置し医療圏は有明医療圏と呼ばれ、有明海を囲む熊本県北部から柳川市辺りまでをカバーする場所に位置します。ベッド数 320 床の急性期病院です。年間救急車搬送件数は 1,800 件前後で緊急手術・緊急処置などを必要とする場合も多くあります。各科専門医の先生を始め若手の先生も多く在籍し、当院のような中核病院の特徴である、「科の垣根」を越えて治療に当たることもあり、そのような環境下での研修は多くの学びがあるのではと思います。

研修医の受け入れは、基幹型研修病院としては毎年 2 名の受け入れですが、協力型研修病院としては、久留米大学病院、筑後市立病院、米の山病院、荒尾市民病院（熊本県）より多数の研修医の受け入れを行っており、各病院の研修医がお互いにより刺激を受けていると思います。また、当院で研修修了後、各科の専門医を目指す先生方も在籍しており、研修中・研修後の相談を行ったり、将来像がイメージしやすい環境かと思います。

初期臨床研修の 2 年間は医師として社会人として先生方の今後に大きく影響する期間だと思います。当院で研修を行い、各分野で大きく羽ばたいていただければと思います。

## 8. 研修医の声

### 【2年間の初期臨床研修を終えて】

初期臨床研修医（令和2年度採用）照屋 快斗

大牟田市立病院で、2年間研修医として働かせていただきました。ご迷惑をおかけする事も多々ございましたが、指導医の先生方、スタッフの皆様ののおかげで何とか研修を無事修了する事が出来ました。

この研修プログラムを通して、まだまだ至らぬ点ばかりではありますが、研修医が始まった頃と比べると、当直も含めて多くの症例に出会い、様々な考え方や手技を経験させていただき、診察から治療、御家族への説明の仕方まである程度身につけることができたと思います。

これもひとえに、周りの方々の存在があったからです。お世話になった方々には感謝してもしきれません。

4月からは私の地元である沖縄の琉球大学眼科に所属する事となりました。まだまだ未熟な部分もありますが、研修医として経験したことを生かしつつ、眼科医としてさらに研修を積み、地域医療に貢献できればと思っています。

2年間暖かく支えていただき、本当にありがとうございました。



### 【1年を振り返って】

初期臨床研修医（令和3年度採用）栗山 紗矢香

臨床研修1年目は、社会人、医師としての生活の始まりでした。人の生死に携わるという責任の重大さと自分の未熟さに、努力と反省を要する日々でした。学生としてあまり重大な責任に晒されず過ごしてきた今までとは大きな溝がありました。医学的、社会的な問題に出会い、立ち止まってしまうことも多々ありましたが、そのような状況の中でも一緒に悩んでくれる同期、先輩がいてくれることが大きな支えでした。

大牟田市立病院は大牟田市の中核病院であり、各科において軽症から重症まで数々の疾患、患者さんに出会うことができます。例えば救急外来では、軽症



から重症まで多くの疾患を経験できます。また病棟では、コメディカルの方の協力の下、様々な疾患の経過を担当医として患者さんに一番近い存在で経験ができます。更にカンファレンスでは、各疾患における問診・身体所見・検査の解釈のエッセンスを学ぶことができます。そのカンファレンスで学んだことを臨床で活かすことができたときには小さな感動があります。そのほかにも著名な専門家を招致しての治療、日常診療のための実践的なレクチャー、研修医同士での勉強会もあります。

更に大牟田市立病院は総合医局となっていることもあり、各科の敷居が低く、様々な科をローテートすることが可能であることも当院の特徴で、他科からのコンサルトにもフットワーク軽く相談に応じてくれる上級医の存在は貴重です。

まだまだ勉強不足の点も多いですが、研修医として想像以上の経験を積ませていただける環境であるため、残り一年より一層精進していきたいと思います。

## 【1年を振り返って】

初期臨床研修医（令和3年度採用）中村 文美

6年間の学生生活を終えて、念願の大牟田市立病院に入職してから早1年の月日が経とうとしています。

4月はオリエンテーションがあり、オリエンテーションが終わると救急科での研修がありました。国家試験で学んだはずの知識も臨床の間では出てこず、何をしたらいいのかわからず右往左往していました。5月から内科で3ヶ月研修させて頂き、内視鏡も使わせていただいたり外来に陪席し患者さんへの接し方、説明の仕方などたくさんのお話を優しい先生方から学ばせて頂きました。医局が全科共通であるおかげで他科の先生方とお話しできる機会が多く、科を回る前に先生に存在を知って頂けていることが多く、他大学出身の私でも気にならず研修できている気がします。

8月からは循環器内科で2ヶ月間、10月からは腎臓内科で1ヶ月間研修し、カテーテル治療やPTAなど見せて頂きました。11月からは2ヶ月間麻酔科を回りました。麻酔科では術後回診や術前説明などさせ



ていただくことが多く、失敗しご迷惑をおかけすることも多かったと思いますが、そのたびに丁寧に教えていただき学びも多かったです。そして1月から外科での研修に入りました。手術で気分が悪くなる私に配慮していただき、先生方が私に合った研修方法を考えてくださっています。回診で入院中の患者さんに対して処置を行う際や縫合の練習など先生方が丁寧に教えてくださったので、ひとつひとつ身につけることができました。外科系が苦手だった私も先生方のおかげで3ヶ月があっという間に感じました。

今となっては、あっという間に感じる1年間も思い返してみれば充実していました。

1年目は初めてのことが多く環境に慣れるのに精一杯でしたが、2年目はより収穫の多い1年間にしたいと思います。

## 【大牟田市立病院での初期臨床研修】

初期臨床研修医（令和4年度採用）阿比留 聡士

大牟田市立病院で研修が始まり2ヶ月が経ちました。慣れない土地ということもあり、入職当初は不安が強かったことを覚えています。しかしそれも杞憂で、はじめの1週間のオリエンテーションで研修医だけでなく、他職種の同期とも交流する機会があり、すぐに話せる仲間が増えました。オリエンテーションでは検査部、放射線部、薬剤部など普段見えない業務についても拝見することができ、非常に勉強になりました。



4月2週目からは救急科での研修が始まりました。実際に患者さんを問診し診察し検査等をオーダーすることは、やはり机上の勉強とは全然違い、難しさを感じました。2ヶ月が経ち、少しずつできることも増えてきましたが、まだまだ勉強しなくてはならないことがたくさんあると日々感じています。

この病院の強みとして、人数が少ないため指導医からマンツーマンでの指導が受けられることがあると思います。症例のとりあいになることはまずないですし、手技をする機会はたくさん回ってきて、すぐ



にフィードバックを得ることができます。望めば望むだけ経験を積むことができる環境であると思います。

また、病院の規模がちょうどよく、アットホームな雰囲気であることもこの病院のよさだと思います。医局が一緒なため、上の先生との距離が近く、よく気遣っていただき、声をかけてくださります。自分が疑問に思ったことなども気軽に質問し、教えていただくことができます。当直の際などでは、薬剤師さんに抗生剤について教えていただいたり、放射線技師さんに読影の相談をしたりと、他職種の方にも教わる機会も多くあります。

以上のことから、恵まれた環境で研修できていると感じています。一度見学に来られたら当院の研修のよさがわかると思いますので、ぜひ気軽にお越しください。

## 【大牟田市立病院での初期臨床研修】

### 初期臨床研修医（令和4年度採用）河合 祐弥

大牟田市立病院での研修も1ヶ月と少しが経ちました。4月では研修医2人で救急科を回り、入院されている方の病態把握や救急車で来る方のファーストタッチを学ぶことができます。

ファーストタッチではまずABCの異常の診断が重要というのは国家試験では当たり前で、問題として出たら悩まず選ぶことができると思います。しかし実際に自分が現場に立つと、例えば頭部外傷の方が来たとき、どうしても目立つ頭部の傷に目が行ってしまいその診察ばかりになり、気がつけば橈骨動脈が触れない、呼吸が浅くなっているといった状況になってしまう経験もありました。

入院させるのか、点滴をどうするか、検査を何するか、患者さんの診察をしながらこれらの事も同時に考えていかないとはいけません。机上での勉強が主だった今までと異なり、その場の判断と対応が求められます。

他にも様々な場面で自分が今まで勉強したことでは太刀打ちでき



ず、何もできずにあたふたするだけのことも正直多かったです。その度に先生方から指導していただき、少しずつですが成長していく事が出来てと思います。

点滴や採血といった手技もやらせて貰えますが、患者さんは高齢者で血管も見えないといったことも多く、なかなかうまくいきませんでした。しかし、指導医の先生、看護師の方達の協力もあって、少しずつではありますが手技は向上していきます。

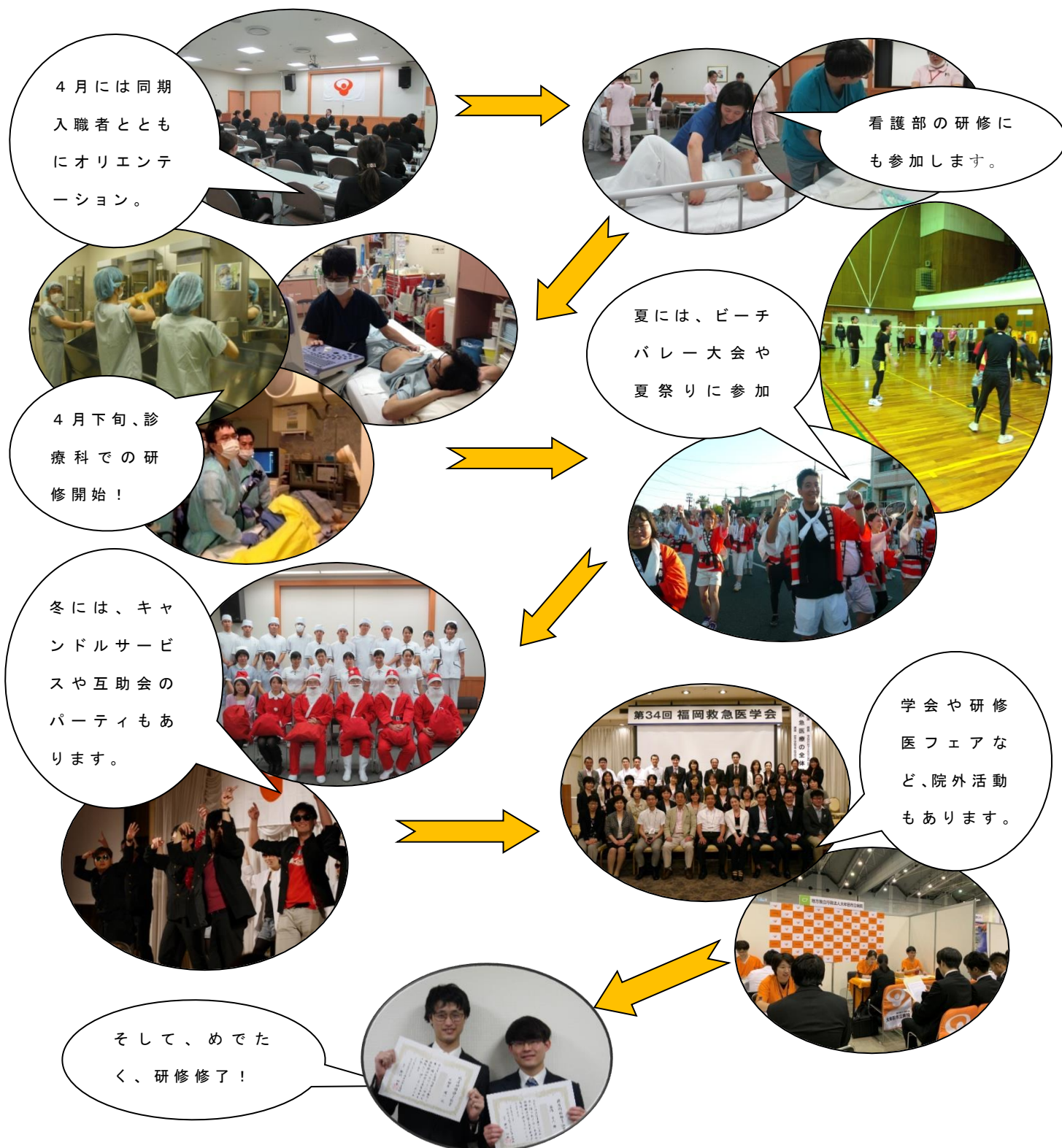
最初は慣れないことだらけで大変ですが指導医の先生もコメディカルの方達も様々なことを優しく教えてくださるので一步一步確実に出来ることは増えていき、少しずつ任される範囲が増えてやりがいを感じています。仕事以外の面でも、医局や病棟全体がアットホームな雰囲気皆さん優しく接してくれます。

1ヶ月以上経ちましたが大牟田市立病院での研修はとても恵まれた環境だと感じているので、当院の研修に少しでも興味がある方は是非一度見学に来ることをおすすめします。

**医局全体で、臨床研修医をサポートします！**



## 9. 研修中の行事例



## 10. 募集要項と処遇

### <募集要項>

|       |                                                                                                                                                                    |
|-------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 応募資格  | 令和5年度医師免許取得予定者及び平成16年以降に医師免許を取得した者で、令和4年度医師臨床研修マッチングに参加登録している者。<br>なお、地域枠の学生の方は、当院での臨床研修が認められるかご確認の上、ご応募ください。                                                      |
| 募集人数  | 2名                                                                                                                                                                 |
| 採用予定日 | 令和5年4月1日                                                                                                                                                           |
| 研修期間  | 2年間                                                                                                                                                                |
| 選考方法  | 面接、小論文                                                                                                                                                             |
| 出願書類  | 履歴書(市販の書式で可)、成績証明書、共用試験医学系 CBT 個人別成績表(写)、卒業見込証明書または卒業証明書                                                                                                           |
| 選考日   | 令和4年7月下旬～令和4年9月中旬の期間で応募者と調整の上、決定                                                                                                                                   |
| 出願締切日 | 令和4年8月31日(水)(予定)※消印有効<br>出願書類送付および問合せ先: 人事課<br>〒836—8567 福岡県大牟田市宝坂町2丁目19番1号<br>TEL 0944-53-1061 E-mail somu@ghp.omuta.fukuoka.jp<br>* 病院見学は随時実施しております。遠慮なくご相談ください。 |

### <処遇>

|          |                                                                                                                                                                |
|----------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 身分       | 研修医(常勤)                                                                                                                                                        |
| 給与       | 1年次 301,500 円(月額税込)<br>2年次 312,600 円(月額税込)<br>* 諸手当別途支給あり<br>副直手当(15,000 円/回)、通勤手当(月額上限 55,000 円)、<br>住居手当(月額上限 27,000 円)、時間外勤務手当                              |
| 賞与       | あり(令和3年度実績 年間 4.15 月分)<br><モデル年収(給与+賞与+副直手当)><br>1年次…5,270,000 円、2年次…5,760,000 円 ※副直手当(月4回で計算した場合)                                                             |
| 勤務時間     | 午前8時30分～午後5時15分<br>* 指導医の下で、週1回程度の当直(副直)あり                                                                                                                     |
| 休暇       | 土曜日、日曜日、祝日、年末年始、その他各種休暇あり(年次有給休暇、夏季休暇、服喪休暇等)                                                                                                                   |
| 社会保険     | 各種社会保険加入(福岡県市町村職員共済組合、雇用保険、厚生年金、労災保険)                                                                                                                          |
| 健康管理     | 採用時健診、定期健診、歯科健診など                                                                                                                                              |
| 宿舎       | あり(3LDK…月額 10,500 円、シェアハウス…月額 3,000 円～4,000 円、水道光熱費別途、駐車場あり) ※宿舎の空室状況により、入居できない場合は、ご相談させていただきます。                                                               |
| 医師賠償責任保険 | 病院で包括加入                                                                                                                                                        |
| 研修支援     | ・学会、研究会参加: 参加費用および旅費支給制度あり(当院規定による支給)<br>・資格取得: 当院にてICLSコースおよび緩和ケア研修会受講可能<br>・図書室: 蔵書・雑誌タイトル多数、文献検索ツール・電子ジャーナル完備、24時間利用可能<br>・研修医各自に机、棚、ロッカーあり ・仮眠室あり ・院内保育所あり |



## 11. アクセス

